

土壌くん蒸剤



Dow AgroSciences

# テロン™

登録番号:第22032号

有効成分:1,3-ジクロロプロペン…97.0%

性 状:淡黄色透明液体

人畜毒性:普通物

## あなたの野菜の根は だいじょうぶ？



### 線虫の土壌病害 への関与

線虫加害が複合的な要因として、土壌病害の発生を増長させる現象を「複合病」と呼びます。線虫防除は病害対策においても意味があります。

※テロンでは、ばれいしょの青枯病・そうか病に適用があります。



### コガネムシ幼虫 も同時防除

コガネムシ幼虫は、土壌に生息するため防除が難しい害虫です。テロンは土壌中でガス化し拡散するため効果的に防除することが可能です。



TM/ダウ・アグロサイエンス・エル・エル・シー商標

## 線虫に効く、高濃度D-D剤。テロンが根を守る。



ネコブセンチュウ被害(かんしょ)



ネコブセンチュウ被害(にんじん)



ネコブセンチュウ被害(すいか根)



シストセンチュウ被害(ばれいしょ)



ネコブセンチュウ被害(メロン地上部)



ネコブセンチュウ被害(だいず地上部)



ネグサレセンチュウ被害(ごぼう)



そうか病被害(ばれいしょ)

■適用病害虫と使用方法 本剤および1,3-ジクロロプロペンを含む農薬の総使用回数/1回

本資料は2008年6月現在の知見に基づき作成されています。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用方法	使用時期
<b>葉菜類</b> はくさい、レタス、非結球レタス、こまつな、ほうれんそう、キャベツ、ねぎ、みつば <b>果菜類</b> きゅうり、すいか、いちご、トマト、ミニトマト、メロン、かぼちゃ、なす、ピーマン、オクラ、とうがらし類、まくわうり、にがうり <b>根菜類</b> だいこん、はつかだいこん、にんじん、かぶ、ごぼう、かんしょ、てんさい、こんにゃく、さといも、やまのいも、らっかせい <b>花き類</b> きく <b>その他</b> (ハーブ類) パセリ、しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、しそ、しそ(花穂)、バジル、うど、薬用にんじん、食用ぎく	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20ℓ/10a (1.5~2mℓ/1穴)	<b>全面処理※1</b> 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。  <b>作条処理※2</b> 播種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	作付の 10~15日前 まで
うり類(漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫			
だいず、えだまめ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ			
ばれいしょ	ダイズシストセンチュウ	20ℓ/10a(2mℓ/1穴)		
	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ ジャガイモシストセンチュウ	15~20ℓ/10a (1.5~2mℓ/1穴)		
	青枯病 そうか病	30~40ℓ/10a (3~4mℓ/1穴)	<b>全面処理</b> 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	
茶	ネコブセンチュウ	20ℓ/10a(2mℓ/1穴)	<b>全面処理※1</b>	
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	4~6ℓ/10a (1.3~2mℓ/1穴)	<b>植位置処理</b> 植付前、畦上、畦面被覆後に植付予定位置の深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。但し、ガス抜きは行わないこと。	作付の 30~45日前 まで
すぎ(播種床、床替床) ひのき(播種床、床替床)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ イシユクセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20ℓ/10a (1.5~2mℓ/1穴)	<b>全面処理※1</b>  <b>作条処理※2</b>	作付の 10~15日前 まで

●耕起・整地はていねいに行ってください。 ●土壌水分は、土を軽く握ってひらくとこわれずに軽くひび割れができる程度が適正です。

■くん蒸期間とガス抜き期間

- 処理は原則として作付の10~15日前に行い、作付3~4日前に畑を耕起して十分にガス抜きをしてください。
- くん蒸期間、ガス抜き期間と効果、薬害の関係は、土壌の種類、腐植土の多少、温度、土壌水分、作物によって異なります。はじめて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

処理時期(地温)	処理時期とくん蒸期間・ガス抜き期間の目安		
12~2月(5~10℃)	注入	15~20日	20日 定植
3~4月(10~20℃)	注入	10~15日	ガス抜き作業 15日前後 定植
5~6月(20~25℃)	注入	7~10日	7~10日 定植
7~9月(25~35℃)	注入	7日	5日 定植
10~11月(25~15℃)	注入	7~10日	10日 定植

- 処理後に大雨があったり、土壌が重粘土質で通気の悪い所では、ガス抜きを特に念入りに行ってください。
- 温度の低い時、薬量を多くした時は、注入から作付までの期間を少なくとも1週間くらい長くしてください。
- ばれいしょのそうか病に対しては、地温が低いと効果が不十分な場合があるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又は、その新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

■安全に使用するために

- 右記イラストに記された、正しい服装と保護具を着用し作業してください。
- ガス抜き作業の際にも、右記イラストの服装と保護具を着用してください。
- 作業およびくん蒸中に、人や家畜・家禽を圃場に立ち入らせないように注意してください。
- 作業後は、手足、顔を洗い、うがいをし、衣服を交換してください。
- 眼に入った場合は、多量の水でよく洗い、速やかに眼科医の手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 薬液が衣服に付いた場合には、ただちに着替え、他のものと分けてよく洗濯してください。



農薬の中毒に関する緊急問い合わせ先  
 (財)日本中毒情報センター  
 大阪中毒110番 072(727)2499 (24時間)  
 つくば中毒110番 029(852)9999 (9~21時)

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●使い終わった缶は、逆さまにして周囲に影響のない場所に臭いが抜けるまで立てておいてください。その後、危険のない場所で処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

